

授業科目	高次脳機能障害 I (概論)				
担当者	森岡悦子・中谷謙				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

本講義では、注意、記憶、認知、視空間認識、行為、遂行機能など、大脳の機能を理解し、それらの機能が損傷された結果生じる高次脳機能障害の障害機序と臨床像を学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 大脳の構造および領域別の機能を説明できる。
2. 各々の高次脳機能障害の症状を説明できる。

## ■ 授業計画

- 第1回 高次脳機能障害の概要：高次脳機能に関わる中枢神経系の機能と情報処理システム (森岡)
- 第2回 注意の機能と特性 (森岡)
- 第3回 記憶の種類、記憶の回路とメカニズム、病変別記憶障害の特徴 (森岡)
- 第4回 失行、行為、行動の障害 (中谷)
- 第5回 失認と関連症状 (森岡)
- 第6回 無視症候群・外界と身体の処理に関わる空間性障害 (中谷)
- 第7回 遂行機能障害、外傷性脳損傷による高次脳機能障害 (森岡)
- 第8回 高次脳機能障害の臨床像のまとめ (森岡)

## ■ 評価方法

筆記試験 100%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義中に重要箇所を確認するので、よく復習すること。

## ■ 教科書

書 名：高次脳機能障害学 第2版  
 著者名：石合純夫  
 出版社：医歯薬出版株式会社

## ■ 参考図書

書 名：標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学 第2版  
 著者名：編集 藤田郁代、阿部晶子  
 出版社：医学書院

## ■ 留意事項

授業の復習を行うこと。

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

## ■ 講義受講にあたって

授業内に示された要点を中心によく復習すること。